

104号
2023年
2月発行

きたなかぐすくそん

北中城村

議会だより

令和4年11月
臨時議会

令和4年12月
定例議会

原油価格高騰！物価高！

議会に行政！さあ！どうする！？

■目次

- ・予算関係(11月臨時議会・12月定例議会) 2P
- ・条例・請願・陳情・意見書 3P
- ・一般質問 4~13P
- ・議会傍聴者に聞く・議会研修報告 14P・15P
- ・議会の動き・職人さんこんにちは・編集後記 ... 16P



議会HPは
こちらから
Check!

臨時議会
令和4年
11月28日

令和4年度一般会計補正予算(第4号)

4,424万円増額

歳入歳出予算総額 89億8,610万円

原案
可決

一般会計の主な補正内訳は 新型コロナウイルス感染症対策、地方創生臨時交付金事業の追加分人事院勧告に基づく給与改定による人件費の補正が主であった。

- 地方創生臨時交付金 3,333万円
(電力、ガス、食料品等価格高騰の重点支援分)
- 衛生費清掃総務費 1,732万円
(村指定の燃やすごみ袋を村内全7,700世帯に100枚ずつ配布)
- ◎ 北中城村役場外構工事改定契約について 6,295万円

※国民健康保険特別会計補正予算(第3号)、水道事業会計補正予算(第4号)、下水道事業会計補正予算(第3号)、人事院勧告に基づく給与改定による人件費の補正を可決した。



北のペーちゃん

定例議会
令和4年
12月12日

令和4年度一般会計補正予算(第5号)

1億1,941万円増額

歳入歳出予算総額 91億551万円

原案
可決

一般会計の主な補正内訳は

- 障害福祉サービス諸費 2,474万円
(障害者の日常生活等を支援)
- 出産・子育て応援交付金 1,483万円
(妊娠期から出産・子育てまで一貫した相談支援と経済的支援)
- 道路メンテナンス事業補助金 2,960万円
(村内の道路、橋梁等の長寿命化及び修繕を目的)
- 受託事業収入 998万円
(沖縄県損失補償で中学校プール目隠しネット設置工事)



中ゆくりん

国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

7,664万円増額

歳入歳出予算総額 23億6,433万円

※その他、北中城村職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について、水道事業会計補正予算(第5号)を可決した。



城まーい

条例・契約・請願・陳情・決議・意見書

令和4年第9回臨時議会及び第10回12月定例議会において各議案等について審議され、下記のとおり可決・採択されました。

議案第46号 北中城村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について **原案可決**

議案第47号 北中城村特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について **原案可決**

議案第48号 北中城村議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について **原案可決**

議案第53号 北中城村役場外構工事改定契約について **原案可決**

議案第54号 北中城村職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について **原案可決**

陳情第4-24号 令和5年度福祉施策及び予算の充実について（要請） **採択**

陳情第4-27号 村内の教育機関において、子ども達のマスク着脱における正確な指導と柔軟な対応を求める陳情書について **採択**

- ・新型コロナウイルス感染症対策で始まったマスク着用。マスクをつける習慣が日常化している中、子どもたちについては発達や成長という観点で様々な問題が起こることが危惧されている。
- ・人の表情で感情を読み取るなど、子どものうちに多くの表情と触れ合うことが大切である。
- ・委員会においては関係機関より対応等の聞き取りを行い、陳情事項の感染予防対策の適切なマスク着脱について議論した。
- ・幼稚園、各小学校、中学校の取組については、保護者の申入れ等も尊重して、適切な対応により子どもたちの安全・安心を確保し国や県の通知に基づいて必要な配慮が図られている。
- ・陳情者のマスク着脱に関する改善策の要望については、引き続き関心を持っていく事を確認し本委員会では陳情を採択することを決定した。（審査意見要約）



陳情第4-28号 有機フッ素化合物（PFAS）汚染から県民の健康と生命を守る陳情について **採択**

意見書第5号 有機フッ素化合物（PFAS）汚染から県民の健康と生命を守る意見書について **可決**

決議第5号 議会活性化調査特別委員会設置に関する決議について **可決**

決議第6号 海兵隊員による建造物侵入及び傷害事件に対する抗議決議について **可決**

意見書第6号 海兵隊員による建造物侵入及び傷害事件に対する意見書について **可決**

令和4年12月 定例議会

村政を問う!

インターネット中継
録画配信も
やっています

一般質問者
10人

議会に

来ませんが

- 一般質問の議会録要約文は本人執筆、議会広報委員でチェックして掲載
- 各議員氏名横のQRコードから動画をご覧いただけます

1 ^{ひが さとる} 比嘉 悟 議員…………… 5p

- ①ライカム自治会発足を早急に

2 ^{おおしろ りつや} 大城 律也 議員…………… 6p

- ①高齢化社会試練に立つ地方行政
- ②老人クラブ連合会の意義と役割

3 ^{へんざん かずみ} 平安山 和美 議員…………… 7p

- ①村民の生命と財産を守る

4 ^{かわかみ りょうた} 川上 龍太 議員…………… 8p

- ①子どもの居場所作りと子ども食堂の設置運営を提案

5 ^{ひが よしひろ} 比嘉 義弘 議員…………… 9p

- ①村道ヒルトン22号線の問題
- ②教員不足など教育環境の問題はないか
- ③松くい虫の影響が心配だ

6 ^{ひが まさし} 比嘉 正志 議員…………… 10p

- ①子どもを大切にしない社会に未来はない
- ②当たり前を疑え

7 ^{きやん いさお} 喜屋武 功 議員…………… 11p

- ①ライン公式アカウントサービスは
- ②子供たちへのワクチン接種慎重な対応が必要
- ③下水道接続率と普及率を上げる取組み

8 ^{やら ともはる} 屋良 朝春 議員……………



- ①スポーツ環境の整備
- ②渡口みどり公園の利用
- ③渡口の河川敷の整備
- ④熱田漁港の道路整備

本人の希望により要約文は掲載しておりません。

9 ^{うえま けんじ} 上間 堅治 議員…………… 12p

- ①スクールバス、ようやくスタートと思ったが

10 ^{きやん こ} 喜屋武すま子 議員…………… 13p

- ①ライカム自治会結成と建設計画は
- ②出前講座の実施を

ライカム自治会発足を早急に

村長：自治会発足に向けて奮闘したい



比嘉 悟 議員

詳細は動画から Check!



問

2010年7月31日に米軍基地アワセゴルフ場が返還され

2013年3月29日、沖縄防衛局により原状回復が完了し、地権者へ引き渡しが行われた。その後土地区画整理事業が実施され、2019年9月、北中城村に新しいライカムが誕生した。人口は2022年11月末現在、357世帯883名と日々増えている。ライカム自治会発足に向けたこれまでの村の対応は。

答

令和元年度にライカム地区の住民を対象に勉強会を2回実施しているが、新型コロナウイルスの影響により中断している。

問

ライカム地区は村内や他市町村、

県外などからの移住者でまだ顔の見える関係が築かれてないと思う。ここは村が先頭に立って音頭を取って進めるべきと思うが。

答

コミュニティとかが煩わしいと思っている人もいる。多様な考え方にどう対応するかもまた行政の大きな課題で、まず接点を作りたい。

問

説明会等を開き早期に接点も持ちある程度の形を整えるべきだと思うが。

答

何かしら機会を作って勉強会、地域の問題を改めて明確にし、自治会の必要性を問うてもいいかなと思う。

問

ライカム地区から防犯灯やカーブ

ミラー等の要望は出てないか。

答

要望は出ている。維持管理・場所の課題があり、地域の総意で整備をする必要がある。今は、お断りしている。

問

カーブミラーは維持管理が発生しない。沖縄署と連携し、先に設置できないか。

答

カーブミラーの反射が家庭内に入って、嫌がる方もいる。住民間の総意で設置する必要がある。

問

村外から北中城村に転入してきた場合、窓口で自治会、公民館等の案内はあるか。

答

自治会、公民館等の情報案内は窓口では行っていない。

問

転入してきた方に各種案内や記念品を差し上げ、村民になった初日に住民サービスするというのはいかがでしょうか。

答

良いアイデアだと思う。しっかりと斟酌していきたい。

答

関係課と前向きに検討していきたい。

問

お二人が末永く幸せに暮らしていくことを願い、祝意を表し、また、新しい家族が誕生した喜びと感動を大切に婚姻届や出生届時にも記念品を差し上げたいというのはいかがでしょうか。



自治会発足が待たれるライカム地区

高齢化社会 試練に立つ地方行政



おおしろ りつや 議員
大城 律也

詳細は
動画から
Check!



問

本村においても高齢者割合が急速に進行している。長い高齢期をいかに不安なく、生き生きと過ごすかが行政、地域社会の今後の課題である。大型商業施設等の集中による発展、過密な人口急増現象、さらに過疎現象など端的に表現される人口構造変化を示している。今後は、地域社会の交通のネットワークを形成して高齢化社会の生活環境の整備を図り、快適、利便、健康、安全を目指すまちづくり、早急に取り組む必要があると思うが。

答

超高齢化社会への対応は、本村においても重要な課題である。生産年齢人口減少に加え、社会保障費の増大といった諸課題に対して本村においても様々な面から取り組んでいる。地域間格差を解消し、村全体で住みよいまちづくりの実現は重点的に取り組

む必要があると考えている。コミュニティバス等の路線を拡大し、高齢者等交通弱者が利用しやすい交通手段の確保に努めている。

問

高齢化社会、長い高齢期をいかに不安なく過ごすかである。孤独、孤立の問題が顕在化している。独りで悩みを抱える高齢者が増えている。独居の高齢者の見守りや相談に応じる社会福祉協議会や民生委員の役割は大変重要である。

答

高齢化の進展は行政や各種保険制度等による仕組みだけでは補うことができない。自らの老後に備えた自助による取り組みや地域の互助による取り組みがますます重要である。支援が必要な方には民生委員社会福祉協議会による重層的な支援体制の構築を図り対応したい。

老人クラブ連合会の意義と役割

問

老人クラブは生活支援体制整備事業で仲間づくりをして、孤立することなく、地域で支え合う基盤を作り上げている。社会奉仕活動に積極的に参加し、高齢者の持つ豊富な人生経験を生かした活動の展開である。地域の絆、暮らしの絆、命の絆で地域に愛着を持つ老人クラブ、超高齢化社会における地域課題を解決する老人クラブとして、果たすべき役割はさらに重要である。

答

今後のさらなる高齢化を迎える我が村において、各字老人クラブや村老人クラブ連合会による活動や役割は重要なものであると認識している。健康で社会参加により、医療保険や介護保険などの社会保障費の抑制にもつながっている。今後も老人クラブの活動を継続して支援していきたい。



生き生き高齢者地域健康増進活動(熱田公民館)

村民の生命と財産を守る



へんざん かずみ 平安山 和美 議員

詳細は動画から Check!



問 日米地位協定について、村長の見解を伺う。

答 六十二年以上前の古い思想、考え方、刑事裁判権、米軍の管理権としての基地使用のあり方、環境汚染など様々な問題点が指摘される中、現在まで一度も改定されたことのない不平等な協定であり、抜本的な改定が必要だと考える。

問 看板設置の方法や内容等をどのように検討したのか。

答 平和を守る北中城村民の会の事業として実施する。第二庁舎に県道から見えるように五月十五日日本土復帰の日と六月二十三日慰霊の

日に懸垂幕で設置する。改めて日米地位協定について考える機会を与える内容とする。

問 平和を守る村民の会とはどういった会なのか。

答 当初は村民と行政が一緒に平和運動に取り組む、村民や会員

から一人百円の会費で運営していた。北中城村のシンボリックな活動と思っている。これまでの事業としては、平和の像やステッカー作成。平和交流事業で、広島県、長崎県へ児童生徒の派遣等を行っている。

問 懸垂幕に掲げたスローガンとは。

平和憲法を守る
非核宣言の村
人権を尊重する
北中城村
108245月30日 宣 言

答 当初掲げた看板と一緒に、政府は日米地位協定を抜本的に見直せ。

問 役場に懸垂幕の掲示だけではなく広報誌等でも周知が必要だと思いが。

答 啓発等についてももっとやりやってみようと思う。

問 本村議会は、村民、県民の生命、財産を守る立場から米軍絡みの事件事故において抗議決議等を行ってきた。

村民の生命と財産を守る立場は行政も同じだと思いが、村長の見解を伺う。

答 北中城村は県内で3番目に平和非核宣言をしたところ。そして国際紛争の解決策として、二度と戦争を起こさないと誓った。そういう中で、米軍が起因する事故等が起こっている。今後は、行政と議会が一緒になっての抗議行動や有識者の方々とも相談して、いろんな活動を展開していきたい。



役場前に掲げられた非核宣言

子どもの居場所作りと子ども食堂の設置運営を提案

村長・体制を振り返って検討していく



川上 龍太 議員

詳細は動画からCheck!



問

県内においても行政の委託や補助のほか、民間主体の取り組みなど様々な形でいゆる子ども食堂が広がっている。本村では、定着されておらず、一部の団体等で徐々に取り組んでいるのが現状である。社会福祉協議会では、民生

委員児童委員とタイアップして無料で弁当を配布する子ども元気サポートを社協、児童館を活用して取り組んでいる。アンケートの結果、誰でも利用できる子ども食堂は89%の世帯が「必要」と回答。子ども達、保護者への支援拡大や負担軽減

を踏まえ、子ども食堂は必要であると考えるが、村長の考えは。

答

本村における貧困対策事業では、国・県からの補助や民間からの寄附等を活用して児童館を中心に居場所作り事業や食事の提供を

子ども元気サポート vol.4 北中城村民生委員児童委員協議会

お弁当配布 (アンケート)

★長引くコロナ禍の中でがんばっている村内の子どもたちへ無料でお弁当などを提供し、子どもたちの元気をサポートします。

★お弁当の申し込み対象者の年齢を3才～18才までといたしますので、ご了承ください。

申し込み先: 098-935-4520

★次回のお弁当配布の日時、場所、メニュー

日時: 11月19日(土) 昼12時～1時

場所: ①北中城村総合社会福祉センター ②島袋児童館

次回メニュー: キッズ ビビンバ丼

★お弁当は、受け取ってから2時間以内にお召し上がりください

※この事業は、特定医療法人アガベ会様からの寄付金を活用しています

Q1. お弁当の受け取り場所について教えてください。

①今の場所がいい(福祉センター、島袋児童館)

②別の場所がいい(どこがいいですか?)

Q2. お弁当の受け取り時間について教えてください。

①今の時間でいい(12時～1時)

②別の時間がいい(どの時間がいいですか?)

弁当申し込み【11月 19日(土)】

名前	連絡先
住所	
ご希望のお弁当の個数 名 対象者の年齢ご記入ください。	
①才 ②才 ③才 ④才 ⑤才 ⑥才 ⑦才	
※食物アレルギーの対応はできませんので、ご了承ください。	

子ども元気サポートの申し込み・アンケート用紙

問 沖縄市にある子ども食堂には、本村の保護者約20名が毎週弁当を買いに来ている現状がある。行政に指導・助言を得ながら補助金を活用して実施しているとの事。本村でも、村当局

答 貧困世帯だけが利用できる施設となると利用しづらい、偏見を生んでしまう可能性もある為、誰でも利用できる児童館で普段から食事の提供をしつつ、そこで把握した個別のニーズに応じて、長期休暇等で提供できる体制を取ってきた。これが正解というわけではなく、色々な形があると思うので今後検討していきたい。

答 ①、②については即でできる。③は我々の体制にも限界があるので、体制を振り返って検討していく。

問 ①運営可能な団体・人材を探し、各自自治会にも協力依頼をし、学校近くの公民館活用も検討。

答 ②補助金、助成金の活用方法や設置運営についての周知・指導助言をしていく。

③団体や人材が見つからない場合はまず当局が主導し、その後は委託を進めていく。

私から3点提案する。

村道ヒルトン

22号線の問題



ひがよしひろ 議員
比嘉 義弘

詳細は
動画から
Check!



問

前村政は観光立
村を目指し観光協
会を設立した。箱物も大
事だが環境整備も大事で、
夜間の道路についても問
題がある。コロナ禍が収
束すると外国や本土から

答

観光客が多くなって訪れ
るでしょう。そこで仲順
の義本王（ナスの御嶽）
の墓の辺りが夜になると
非常に暗くなる。その辺
りはハブの出没が多いと
ころであるが、安全のた



ナスの御嶽周辺で見かけたハブ

答

めにも街灯が必要
ではないか。

防犯灯
の整備に
ついては自治会か
らの要望はなく住
民の需要度や優先
度が低いと考える。

問

地域から
の要望がな
いから優先度が低
いというが村が目
指している観光立
村のスタンスから
考えると極めて大
事ではないか。

答

インタ
ーネット
を通じて近くのホ
テルから周辺の飲
食店へ観光客が流
れているところで
あるので、もう一
度調査しトータル
的に考えて対応し
たい。

教員不足など教育環境の問題はないか

問

全国的に教
員不足等につ
いてメディアから取
り上げられるよう
になった。沖縄県も同
様な現象が起きてい
るとのこと。正直、
教員の仕事は聖職と
考えていたので、そ
の現象にショックを
覚える。北中城村は
教育立村と言われて
きたが、その影響は
ないか。

答

ここ数年の
コロナ禍や休
職者の増加が影響し
ていると思う。

問

かつては北
中城村の小学
校や中学校に転勤し
たいと言われたが、
今もその状況に変わ
りないか。

答

現在も転勤
の希望が多い
ことには変わりはない。

問

伊平屋村を訪問
した時に感じたの
が、また松くい虫が流行
りだしたのではと。相当
松くい虫が目立つようにな
っている。いずれ北中
城村にも影響が出てくる
と考えられるが、その対
策は。

答

特に力を入れて
いる訳ではないが
常時職員が農道をパトク
ールする中で見回ってい
る。

問

県の一括交付金
の中に松くい虫の
予算は計上されているか。

答

県と協議すると
共に周辺市町村と
も情報を共有して進めて
いる。

松くい虫の影響が心配だ

子どもを大切にしない 社会に未来はない



ひがまさし 議員
比嘉 正志

詳細は
動画から
Check!



問 一時預かり保育の利用状況実績は。

答 令和3年度以降、新型コロナウイルスの影響で、保育士が確保できないため事業が行えない状況。

問 令和3年度から保育士が確保できないため事業が行えない状況が続いている。令和4年12月現時点でも保育士不足により一時預かり保育が行えない状況なのか。

答 現時点においても、保育士が確保できないため再開のめどは立っていない。

問 市町村には保育の実施義務があります。村民が保育を必要とする場合において、その対応は。

答 保育士を確保して、喜舎場保育所の一時預かり保育を早急に再開できればという思

いを持っている。緊急預かり保育が必要なお子さんには、ファミリースポーツセンター事業や、養育支援事業という形で支援員を派遣して預かったりというような形でカバーしている。

問 村内の各事業所は、ルールに基づいて保育士を確保し、しっかり頑張っていると思う。民間事業所は精いっぱい状況だと思ふ。しかし、保育士の確保が厳しいという現状も理解できる。全国的に保育士不足で、各都道府県及び各市町村等で保育士の奪い合いを行っている状況。子どもを大切にしない社会に未来はない。本村においても先駆けて保育士確保について大胆な手だてを講じる必要はないか。

答 保育士が定着していく事が重要だと考えている。採用された方が辞めない、働きやすい、保育の質を上げていく、村内の保育所で働

きたいという方を増やしていくよう取り組んでいく。



一時預かり保育の再開が望まれる喜舎場保育所

当たり前を疑え

問 平成30年11月5日にオープンした北中城村民体育館だが、利用開始から4年目にして早くも床の張替え工事が行われた。張替え工事に至った主な原因は。

答 地中の湿気が床シート下のコンクリートスラブの継ぎ目部分に集中し、コンクリートスラブが膨張したため。

問 物を造る時には業者の言う事をうのみにせず、当たり前を疑うという姿勢を進めて頂きたい。今回、あまりにも早い中での床の張り替え工事だが、体育館への床の直貼りが影響しているのではないか。

答 床選定の場合に視察に行っており、メーカー及び、設計事務所を含めて数か所から妥当性があると確認した。

ライン公式アカウントサービスは

村長・実装する機能について検討



きやん いさお 喜屋武功 議員

詳細は動画から Check!



問

本村においてもライン公式アカウントを開設し、防災情報や保育所の空き状況、入所申し込み、学校からの公文やクラスだより等をライン配信してどうか

特に、島袋小学校区は両親が外国籍の方も多く、英語翻訳しての配信も必要と考える。

答

現在、6つの課で実装する機能について検討している。保育所の入所関係は要望すれば実装可能と思う。また、多言語については、その必要性が出れば交渉次第になる。

子供たちへのワクチン接種 慎重な対応が必要

問

我が村は、コロナワクチン接種者の累計が3万8000件

になっているが、副反応等の相談はどうか。2022年10月21日現在の全国のデータによると、ワクチン接種後の死亡疑いが約1万8000件あり

それは対岸の火事ではなく、副反応等についての相談を慎重に取り組んでいくべき。また、発達段階での子供たちのマスク着用の危険性が指摘されているが学校現場での対応はどうか。

答

相談件数は令和3年度68件、令和4年11月時点で18件。相

下水道接続率と普及率を上げる取組み

問

我が村の下水道接続率・普及率向上に向けた取組みは。

令和3年度末時点の下水道接続率は71.7%、人口普及率は63.6%。現在、島袋地域を重点的に整備を進めているが、沖縄振興公共投資交付金の配分が要望額に対して少額である為、整備率が向上していない状況。

問

沖縄振興予算の減が、村の事業にも影響が出ていることを

答

令和6年度に下水道事業経営戦略の見直しを予定しているので内容等も踏まえて検討していく。

知る必要がある。村長も知事に向けて強く言った方がいい。本村は単独浄化槽で5万円、合併浄化槽で10万円の接続補助をしているが、その額を上げるべき。読谷村は、去年から接続補助額を単独浄化槽で20万円、合併浄化槽で25万円にして、接続件数が4倍に伸びている。



※その他に、シルバー人材センターについての質問もしました。

スクールバス、ようやくスタートと思ったが

村長・・・次年度当初は考えていない



うえ ま けん じ 議員
上間 堅治

詳細は
動画から
Check!



問

9月の決算審査特別委員会における通学バス運行検討委員会に対しての質疑で、まずは距離が遠い地域の美崎地区と瑞慶覧地区の低学年を対象にスタートしたいとの答弁だったが、村長への提言の内容は、

答

北中城村通学バス運行検討委員会では、計5回審議を経て令和4年11月10日付けで答申を受けた。内容については、一つ目に通学バスの実施。二つ目に実施については財政状況を鑑み、有償化、継続性を考慮した運行方法を検討し段階的な取り組みを望むとする。

問

答申の内容を聞く、役場のほうで作られた答申のようにも思う。村長はやると言っている。もっと強いメッセージがあっても良いと思うが、具体的な要望はなかったか。



スクールバスとして検討中のコミュニティバス

答

検討委員会では距離、金額等全体的に網羅して検討されている。

問

決算審査特別委員会での答弁は、答申でどのように反映されているのか。

答

村長の答弁にあつた内容である。低学年や距離の問題は答申には含まれていない。

問

決算審査特別委員会の質問の中で、ようやくスタートと思っていたが、これからのような考えで担当課としては事業を進めて行くのか。

答

諮問機関は村長の考えの一助となる委員会であり、答申の内容をみて方向性を固めて行くことになる。事務方としては村長の方針に沿って今後進めていく。

問

答申が出てひと月経つ。村長はどのように考えているのか、いつ頃までにスタートするのか詳しく説明を求めらる。

答

通学バス運行検討委員会はスクールバスに特化した話を行っている。我が村では現在コミュニティバスの実証実験を行っているがコミュニティバスの活用も検討に値する。ただ、実証実験中であり報告書が上がった段階でスクールバスと絡めて検討したい。スタート時期についても次年度当初は考えていない、準備が非常に不足している。年度途中からでも運行出来ればと考える。

※その他に、シルバー人材センターについての質問もしました。

ライカム自治会結成と 建設計画は

村長・結成に向けて模索している



喜屋武すま子 議員

詳細は
動画から
Check!



問 字ライカム自治会の結成に向け村はワークショップを開催していると思う。取組と今後の計画について尋ねる。

答 自治会結成は、地域住民の民意による取組が前提であり、ワークショップは自治会の結成を直接意図しているものではない。参加者の中には、自治会活動に前向きな方もおり、村としても可能な支援をしていく。

問 自治会建設までのスケジュールは。

答 自治会事務所もしくは、公民館の整備に際しては、整備内容に関する住民意向の反映とそれを含めた建設費

や負担のあり方、管理体制の構築など整理すべき課題があり、その住民調整の窓口となる自治会の設立が先決であると考えており、現段階での整備スケジュールはない。

問 住民というのは村内、村外、県外諸外国の方が住んでいるが、特に外国人が何名いるのか把握しているか。

答 外国籍の方は住民登録がなく、その情報がない。ワークショップに参加している方でマンションに住んでいる方がいるが、半数近い方が外国人だと聞いている。

問 自治会づくり、公民館づくりというの、行政は必要性を感じているわけである。

自治会に街灯がなくて困っている。暗いところを行かないといけない。危険性も感じている。またカーブミラーが欲しいとか、いつまで待たせるのか、我慢しなさいというのか、そうだったら早めにつくる必要がある。アワセ土地画整理事業組合は、すでに公民館用地を村に譲渡している。

答 公民館づくりはある程度住民も負担して頂く。まずは自治会をつくりあげていくこと

出前講座の実施を

沖縄市の出前講座チラシ

とから初めていく。ワークショップを経験して、とうかりとして公園をやっているところである。

問 公平さを期すためにルールは、必要である。公民館建設まである程度のスケジュールは、住民に示して行く必要があるが、村の考えは。

答 いつまでに自治会をつくるということ、計画として作り上げていきたい。

問 各字公民館の活用を図り、村職員を活用し、出前講座を実施してほしい。

答 出前講座については、実施していく考えである。

※その他に、子どもの安全保育についての質問もしました。

傍聴者に聞く

令和4年12月定例議会の一般質問を傍聴した、若いママお二人にインタビューしました。



議会を傍聴して

● 梓さん

北中城村はアットホームな感じで参加しやすい雰囲気。村政を皆で良くしていきたいという思いを感じ、素敵だと思った。取り組みも進んでいる事を知って、村民として誇りを持てた。アーカイブでは得られない臨場感を感じたくて参加した。

● 夕貴さん

私自身もそうだが、周りのお母さんたちも「えっ、傍聴に行けるんだあ」と思った。あずさんがインスタで呼びかけていたので、行ってみたいと思って参加した。議員の方が声を掛けてくれたので、親しみを感じられた。

行政用語についてどう思う

● 梓さん

難しい言葉を使ったがために、答弁がアバウトな感じになった。もっと分かりやすい言葉で表現してほしい。

● 夕貴さん

質問内容は分かりやすかったが、答

弁は頭の中で噛み砕かないと分からない。議員の追及はすごいと思った。

北中城のイメージと理想は

● 梓さん

中学校周辺の農道を子ども達と散歩するのが好き。農家のおじいちゃんや5歳の息子の会話に癒された。読谷村まで行って農業をしている。北中城村で子ども達と農業体験をしたい。EM等を使って減農薬の農作物で、きたなかブランドを作りたい。

● 夕貴さん

県外から転入してきて、公園が多い。児童館も歩いて行ける。子育てしやすい環境。おじいちゃん、おばあちゃんが「頑張っているね〜」て、声を掛けてくれるし、抱っこもしてくれる。ここに来て、良かったなあと思っている。以前住んでいた地域は、祖父母世代と若いお母さん世代と味噌づくりで繋がりがあった。おばあ達と繋がりを持って生活の知恵を学びたい。味噌づくりもしたい。



きた ゆうき 北 夕貴さん

字喜舎場在住

ほんの興味本位で行った議会傍聴。遠くの存在だと思っていた議員さんがとても身近に感じました。議会を傍聴しながら、普段なら考えない暮らし続けたい北中城村の未来、を考えていました。沖縄のゆいまーるの精神が大好きです。地域の方と繋がれる定期的な会があったらいいなと思いました。

まえざと あずさ 前里 梓さん

字喜舎場在住

私が議会を傍聴するきっかけは、他市町村の友人が議員になり、友人の一般質問を傍聴したことで北中城村の一般質問にも興味を持った。傍聴してみて感じたことは、議員や当局の質問のやり取りから、生活に直結した課題に真摯に向き合っている。



・研修報告・

■ 市町村議会議員特別セミナー

研修期間・・・令和5年1月10日～11日

研修先・・・市町村アカデミー研修所(千葉県)

参加議員・・・川上龍太議員、屋良朝春議員

全国の市町村議員104名が受講。感染防止対策を徹底しながら、研修に参加する事ができました。

講演内容は、

- ① 「歴史に学び地方の未来を読む」
- ② 「地域の魅力の創造と発信」
- ③ 「ポストコロナ時代における自治体と議会の役割」
- ④ 「日本経済の課題と展望」

各分野で活躍されている講師の方々のお話を聞き、現在の世界や日本の現状を学ぶことができました。特に、「地方の赤字の大半はエネルギー問題による。地域の自然や資源をエネルギーに活用して、やり方次第で赤字に転換できる」との内容があり、本村でもできるやり方を考えていきたいと思いました。今回の研修はとても勉強になる内容でしたので、本村の現状を確認し、住民の声を聞きながら、何が必要なのか、どうやったらできるのかを考え、今後活かしていきたい。

川上龍太



■ 議員活動新人研修

研修期間・・・令和5年1月19日

研修先・・・地方議員研究会(福岡県)

参加議員・・・比嘉悟議員



令和4年9月28日から北中城村議会議員となり、初の政務活動費(半年分)の交付を受けました。タイミング良く新人議員向けの研修を見つけた令和5年1月19日、地方議員研究会主催の議員活動新人研修①②(福岡県)に参加してきました。

午前の部では、1期目に絶対にとってほしいこと、注意してほしいこと。先輩議員に教えてもらうことの是非を含め、職員からみた議員。基礎知識としての財政のポイントを学び。

午後の部では、役所の体質議員の仕事は何か、予算のスケジュールと役所の政策決定の仕組み。議会と職員ができること、できないことなどを勉強することができました。

議員活動は、現状を認識し調査を経て、課題を見つけ、検証、提案し「住民の福祉の増進」を図ることを基本としている。その実現のため努力することが大事である。だからこそ1期目はまず学ぶことから。

比嘉悟



令和4年9月
～令和5年1月

- 第8回9月定例議会 [9月28日～10月21日]
- 第37回北中城まつり・青年エイサー祭り参加 [10月8日]
- 町村議会議員・事務局職員研修会・交流会参加 [10月13日]
- 北中城村文化協会第25回文化祭出席 [10月23日]
- 北中城村幼稚園運動会出席 [10月30日]
- 第7回世界のキタナカグスクンチュ大会出席 [11月1日]
- 北中城村イングリッシュコンテスト出席 [11月15日]
- 島袋小学校運動会出席 [11月20日]
- 中部地区町村議会議員・事務局職員研修会参加 [11月25日]
- 第9回臨時議会 [11月28日]
- 第10回12月定例議会 [12月9日～20日]
- 中城北中城消防出初式出席 [1月6日]
- はたちを祝う式典出席 [1月8日]
- 北中城村功労者表彰式出席 [1月12日]

職人さん
こんにちは
陶芸家 **山内米一** No.1

そくざい
村民の無病息災と
地域の安全を願って
造り続ける

表紙ページのシーサーは、北中城村安谷屋出身、この道50年の陶芸家山内米一さん(70)の作品。山内さんは生まれも育ちも安谷屋で創作活動をする傍ら北中城村文化協会陶芸部やシーサーで景観をつくる会の事務局長も務めている。

そこで、北中城村民なら必ず一度は目にしている北中城村役場正面にあるシーサーも山内さんの作品で、他にも宜野湾市役所や県立北中城高校、県立普天間高校入口、中北消防署(中城出張所)入口、地域の公民館など県内各地に山内さんのシーサーが見られる。

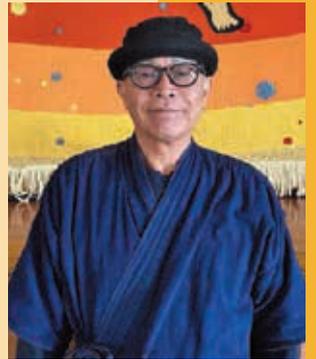
山内さんが陶芸家の道に進んだ大きなきっかけは何ですかと聞いたところ、「小学校の時に描いた絵」と答え、え？絵?と思いましたが、当時の担任の先生に褒められたことが、大きな自信になり、

芸術の道に進むきっかけになったと言う。

その後、山内さんが予備校時代の頃に現代の名工である宮城勝臣(かつおみ)氏の作品に出合い衝撃を受ける。本人に直談判し、陶工として宮城勝臣氏に師事し、そこから、陶芸家の第一歩として進んでいく。後に、人間国宝にもなった金城次郎氏の次郎窯にて修行を積み、数年後に独立、北中城村で工房をかまえ現在に至る。

これまで、陶芸家のメンバーでエイサーの時期にキタナカチンドン屋をして盛り上げたり、首里城復興チャリティーやちむん市を開催するなどして、北中城村の盛り上げ役として活躍している。

これからも沖縄の文化や浪漫を語りながら北中城村をシーサーの故郷にしたいと熱っぽくお話しされていました。



発行責任集
北中城村議会議長
議会広報調査特別委員会
2023年2月25日発行

編集委員
委員長/喜屋武功
委員/川上龍太 比嘉正志 比嘉悟
TEL&FAX
〒901-2392
沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場426-12

議会広報調査特別委員会委員長
喜屋武功

編集後記

103号から始まった新しい広報調査特別委員会の作成による議会だよりは、日常生活に深刻な影響を及ぼしている今の政治的課題や長引く「コロナ感染症から住民生活を護る」という思いと祈りを込めて、沖縄の守り神であるシーサーを表紙にしてシリーズ化しております。
新しい誌面づくりとして、議会と行政が考える村づくりと住民が考える村づくりに乖離がないかを確かめるべく住民の声を多く誌面に反映させ、新しい広報委員だからその魅力と視点を織り交ぜた、これまでとは違う挑戦的な誌面づくりを目指しています。単なる議会行政報告誌ではなく、北中城村の課題と活力を発信し地域の各方々の元気な声を拾い届ける議会だより手に取って読んでみたくなる議会だよりを目指していきますので、ご協力のほど宜しくお願いします。